

箱根組ニュース

第310号 2018年10月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入つて山に登りましょう！

大磯駅近くの湘南平と高麗山の尾根はヤブランの群生と紅白の彼岸花が美しい自然林だった。

予定していた金峰山の参加希望者がなく、中止にしようとしていたが、どこか軽い山なら行きたいという声があり、大磯駅近くの里山に行くことになった。

9月16日(日)、JR東海道線大磯駅前に集合したのは、西川、神山、神吉、戸丸の4名。9時40分頃、4人がそろった。

まずは、西川さんお勧めのおいしいパン屋さんに行くことになる。コースとは反対側の北方向に坂を下ってゆく。少し先で左に入ってゆくと路地を又左に、すると突き当りに「パンの蔵」という看板が見える。立派な真つ白い蔵が正面にあり、その右側にお店があった。10時開店ということだが、まだ9時50分、誰かが声をかけるとまだ全部はそろっていないが有るものでよければということ。で店内に入った。良い匂いがしておいしそう。食パンなどを買う人、私は二種類のアンパンとカレーパンを買った。カレーパンは熱々だったのですぐにその場で食べたが、ほろりとした牛肉が入っ

ていておいしかった。アンパンはこし餡とつぶし餡の二つ購入。後で食べたが甘さ控えめでおいしかった。このパン屋さんの実家は和菓子屋さんでその餡を使っているそうだ。

駅前に戻ると、地物の野菜などを販売しているお店があり、西川さん、神山さんが入っていった。なんでもみかんを餡と生地に練りこんだアンパンがあるそう。でそれを買ってきた。湘南平での昼食時にいただいたがオレンジ色でみかんの酸味がきいていて美味しかった。

さて、いよいよ、10時10分頃駅前を出発。東海道線に沿って南に進む。

10時18分、左に島崎藤村邸の看板。10時20分、左側に地下道の入り口があり地下を通って東海道線をくぐり右側に行く。地下道には派手な壁画が描いてある。地上に出ると立派な邸宅が並んでいる。明治から昭和にかけての政財界の別荘地だそう。伊藤博文や吉田茂で有名なようだ。敷地面積のとても広い家が多い。





両側に立派なお屋敷の続く道を進む。アシナガバチがヤブガラシの花にとまって蜜を吸っているようだ。

車道突き当りを左に進むとすぐ右に曲がる。標識には「関東ふれあいの道、湘南平、浅間山」とある。

切手残数	40円切手	82円切手
現在収入	29762円	0円
支出		
封筒購入	100枚	87円
印刷費		1000円
コピー代		400円
現在高	28275円	

10時30分、湘南平1、2キロ、高麗山2、5キロ地点。10時36分、右斜めに入ってゆく。この先、車はUターンできないと看板に書いてある。

分、善兵衛池。1819年、荒れた山田で苦勞していた農民のために2年かけ、延べ1600人の労力で深さ4、5m、東西24m、南北16mの池を作って付近を良い田んぼにしたということだ。老中から名字帯刀を許され三宅姓を名乗った。二宮金次郎もその後調査に来たとの事。

11時、左側に広い駐車場が現れる。数分で湘南平の千畳敷だ。立派な展望台があり、これを登ると360度の絶景だ。雲が多くて視界はそれほどよくないが湘南の海が見える。天気が良いれば丹沢方面も目の前に見えたことだろう。車でも来やすいので家族連れも多い。広い芝生でレジャーシートを敷いてピクニックをしている。

集合 10月21日(日) JR 東海道線 東京駅(10番線) 7時46分発 (普通) 国府津行(前から3両目車内)

◎途中駅発
新橋 7:50 品川 7:56 川崎 8:05
横浜 8:15 戸塚 8:25
大船駅着 8時31分(バス乗り換え)
9時発 金沢八景行きに乗車
9時20分 光明寺下車

●交通費 東京～大船 片道800円

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066
携帯メール: satorutomaru@gmail.com
メール: tomarusatoru@hotmail.com
箱根組ホームページ
<http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/>

10月21日(日)は大丸山(157m)です。
ラクダコース 歩行3時間半
横浜市の最高峰の大丸山。交通はJR大船駅から金沢八景行きバスで光明寺下車。私たち川遊歩道、横浜自然観察の森、大丸山、瀬上市民の森と歩き、港南台駅へ
※何か汁物を作ります。
○持ち物 昼食、飲料水、非常食、雨具、傘、ポットにお湯、箸、食器、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他
●申し込みは10月19日(金)までに



11時20分、我々も少し早い、下山後の打ち上げも考慮してここで昼食にする。丸テーブルに4人掛けの椅子が空いたのでここで宴会。ビールで乾杯し、トン汁と持ち寄りの惣菜で盛り上がる。

12時50分、出発。東京タワーを小さくしたような赤と白の電波塔の展望台に上ってみる。網が張ってあるので景色は見にくい。南京錠が沢山つけられている。恋人岬のようだ。

1時15分、再出発し湘南平の千畳敷を離れる。看板に浅間山0、3キロ、高麗山1、2キロとある。木の根の多い山道を少し登る。分岐を左に少し進む。

1時30分、浅間山181、3mに到着。一等三角点がある。少し下ったところがヤブランの群生。緑の細い葉からたくさん、薄紫の穂状の花が伸びていてとても美しい。その先にはあちこちに今が旬の彼岸花、鮮やかな赤が見事だ。黄色いノカンゾウの花も一輪。

1時55分、先ほどよりもまた広い一面のヤブランが広がっている。どうやらぴったりの季節に来たようだ。それにしてもこの辺りは素晴らしい自然林が残っている。あちこちに白い彼岸花も咲いている。目を見張るような大木もある。

2時11分、八俣山160mを通過。右に高来神社への分岐をやり過し少し進むと立派な木の橋で鞍部を越える。ごつごつした岩と木の根の坂を超える。

2時26分、高麗山167.3mに到着。広いエリアには小さな祠しかないが以前は立派な社があったと思う。

2時32分、出発。石段を下ってゆく。突き当りを大堂方面に左に進む。

2時44分、東天照135mを通過。道は左、花水広場と、右、生涯学習館方面へと別れるが、海の展望がいいという右方面に下りていく。

2時58分、展望地に着く。標高は低いが海がよく見える。

3時20分、高麗大橋近くの集落に着く。西川さんが調べた打ち上げのお店を目指して花水川沿いを上流へ歩いてゆく。川沿いの桜並木はなかなか気持ちがいい。彼岸花も咲いている。

3時40分頃、目的のお店に到着。西川さんは入る気だったが、他3名はなぜか入る気が起らない。お食事処という感じの店で、普段伊東でおいしい魚を食べている西川さんとは違って他3名は平塚あたりでおいしい魚が食べたかったのだ。西川さんには申し訳なかったが、4人で目の前のバス停から平塚行のバスに乗った。

4時過ぎ、平塚駅前のお店に入った。平塚港のお魚が食べられるとあったからだ。入り口には生シラスの入荷はありませんとあり少し残念だった。

生ビールで乾杯し、獺祭もいただいた。初めて食べた珍しい魚は「イトヒキアジ」というもの。成魚になるまで背中とお腹付近から糸が長くついていると。確かに糸が長く伸びていた。ネットでは評価が低いようだったが、美味しかった。

金峰山が湘南平に変わったがとてもいい一日だった。いつかラクダコースで。

11月のレギュラーは
第2土曜 11月10日(土)です。

